地域おこし協力隊アドバイザー派遣事業について

- 地域おこし協力隊の取組の更なる推進のため、地域おこし協力隊の活用を検討する地方公共団体等からの求めに応じ、地域おこし協力隊の知見・ノウハウ等を有する**「地域おこし協力隊アドバイザー」**を派遣し、地域おこし協力隊に関する助言等を行う。
- 地域おこし協力隊サポートデスク関係者、先進自治体職員、大学教授、地域おこし協力隊ＯＢ・ＯＧ等の有識者にアドバイザーを委嘱。
- アドバイザーの派遣は、原則として、**連続する２日間以内**、**支援時間数の合計は10時間以内**（ただし、最大７時間/日）。
  ※昨年度より支援時間数をより延長（８時間→10時間へ）するほか、派遣自治体数も増やす予定（50団体→100団体程度へ）。

１．派遣の流れ

２．スケジュール

時期	内容
７月	アドバイザーリストの公表 派遣申請の受付開始
随時	派遣申請の受付～派遣
２月末	アドバイザーの派遣完了

３．令和５年度事例紹介

	北海道安平町	千葉県芝山町
課題	・観光や教育分野では応募があるものの、公共交通分野や介護福祉分野などにおいては募集を行っても、**応募がなかなか得られていない**こと。	・地域おこし協力隊を新たに活用するにあたり、**募集から決定までの進め方**のほか、効果的な募集方法や、派遣団体との調整などについて整理する必要があること。
助言内容	・募集情報の発信方法の見直しについて重点的に助言。	・地域おこし協力隊を活用して、新たな地域づくりを進めていくにあたっての必要な目的意識について助言。
成果	・これまで応募が得られていなかった公共交通分野や介護福祉分野においても応募者が現れ、**令和６年度から着任予定**。 （その他の分野では、募集枠を超える応募につながったものもあり）	**・令和６年度から地域おこし協力隊の受入れ開始予定**。 ・今後、町がおかれた特性およびその強みを活かした地方創生のかたちをしっかりと固めた上で、それに則った外部人材の活用を考えていく。